

事業項目		計 画	事業内容
①	(ア) 地域の医療・介護資源の把握	情報収集（医療・介護）	・ 病院MSW(20か所) 、包括（22か所）への訪問によるヒアリングの実施。課題の集約 ・ 県北地域緩和ケア社会資源情報の収集協力。毎年、市医師会を通して発行
		専門職・市民への周知	・ 病院、包括支援センター、在宅医療・認知症専門医等、居宅、薬局の情報収集とホームページの更新 ・ ホームページを中心に各種情報の発信
	(イ) 課題抽出と対応検討	各会議等での意見交換（事業・活動についての報告）	・ 毎月定例会にて業務報告、相談から課題共有 ・ 運営協議会での活動報告。代表委員からの意見聴取と意見交換 （2回/年） ・ 福島市医療と介護のネットワーク事務局（役員会、定例会、WG）
		身寄りのない方への支援体制づくり	医療と介護のネットワーク「身寄りのない方への支援WG」の活動に協力
		オレンジプラン推進委員会ワーキンググループ	もの忘れ相談医、もの忘れガイドブック、研修等の協力
	(ウ) 切れ目ない在宅医療	4つの場面から現状と課題を見直しする	・ 4つの場面から目標を達成するための課題を整理する ・ 課題解決に向けた取り組みを実施する
		災害時連携体制の構築	・ 医療と介護のネットワーク「災害対策WG」の活動に協力 ・ 行政と専門職がMCSを活用した連携を図れるようにする
		M S Wとの地域医療会議	M S Wと行政CW及びCMと連携を強化するための研修
		【課題】 アウトリーチ、同行型支援システムの構築	«事業目的»必要に応じて訪問診療医師、訪問看護師等の専門職を派遣し、同行訪問により在宅療養の開始、継続の支援を行う ・ 各専門職団体等の理解、協力を得るための働きかけを行い事業開始に向けた基盤を構築 ・ フローチャート作成、コーディネート業務準備
②	(オ) 相談受付	相談受付・記入・集計	・ 時間外も対応できる体制の継続 ・ 相談援助技術の向上に努める。研修会へ積極的参加。多職種から情報を得る。
		関係機関へ 課題と対応策の提案	・ 相談内容から在宅医療・介護の課題を把握し行政、他関係機関・団体等への報告、解決策の提案を実施 ・ 課題解決につながる企画を検討
	(キ) 市民啓発	市民向け講演会開催	・ 第7回市民公開講座 令和8年3月13日福島テルサ予定 7月～企画準備
		市民向けミニ講座 ①「わかりやすい在宅医療のお話」 ②「もしバナゲームをしませんか」③「わたしの人生ノート書き方講座」	・ 周知方法の拡大（市政だより・ホームページ。もりりん体操実施団体への出前講座として位置づける。など）を図り、依頼件数の増加を目指す ・ 講座の理解度を知るためアンケートを行う ・ 包括支援センターが開催できるようレクチャーを継続
	(工) 情報共有の支援	退院調整ルール評価	・ 退院調整調査票アンケート実施（5月～依頼、7月～9月集約・集計、9月～評価会議準備） ・ 福島市の結果についてホームページに掲載し周知する
		未整備の専門職団体設立支援	訪問介護事業所等、事業所同士の連携連絡会を立ち上げ活動できるよう支援する
		MCS管理運営	福島市医療・介護連携ネットの加入者の管理、運営規程の確認
		I C T説明・活用研修会	・ MCSの周知と事業所への出前講座 ・ 医療と介護ネットワーク「ICTワーキンググループ」の活動に協力
	(力) 研修企画	研修会企画・開催	・ 認知症支援に関する知識・技術の研修（認知症対応力ステップアップ研修開催）、認知症スクリーニング研修はオンデマンド配信中 ・ 在宅医療、終末期支援に関する研修 （1回/年）
		多職種連携支援	・ 医療と介護のネットワークで公開定例会にて研修会を行う。テーマは役員会、準備はワーキンググループを中心に行い開催協力。
		【課題】 主任介護支援専門員フォローアップ研修	«事業目的»主任介護支援専門員が必要なスキルを習得することにより地域の社会資源として貢献できるようになる 包括、居宅、行政の交流・意見交換研修
③	対策の評価・改善	評価指標のデータ収集	評価指標 ①診療所数 （ストラクチャー評価） ②退院調整ルール連絡漏れ率（プロセス評価） ③在宅医療の訪問患者数 （プロセス評価） ④自宅看取り数 （プロセス評価） ⑤自宅死亡率 （プロセス評価） ⑥在宅療養希望率 （プロセス評価）
		評価と改善の検討	過去7年間の動向を表にまとめる
	その他の取り組み	在宅医療の推進	・ 在宅医療についての勉強会・介護算定表を作成
		障がい者支援	・ 障害の分野においても課題の共有を図る
		医療福祉職人材育成	・ 講師として依頼を受託し、医療福祉人材の育成に協力する
		他地域との交流、研修会参加	・ 県内センターとの情報交換、先進地域の視察